

【インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践】 シラバス抜粋

担当教員／Instructor	義永 美央子
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
開講科目名／Course Name	コミュニケーション論A / Communication in Culture and Society A
曜日・時限／ Day・Time	月曜3限 / Monday 3rd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	第二言語の学習・教育と質的研究
授業の目的と概要／Course Objective	この授業では、まず質的研究のデザイン、方法、パラダイムについて指定図書の購読をもとに検討します。その後、質的研究の手法を用いた論文を読み、質的データ分析に基づく第二言語教育・学習の研究がどのようにして可能になるのかを考察します。これらの過程を通じ、質的研究に関する理解を深め、受講生各自の今後の研究に役立てることが本講義の目的です。受講生の発表やディスカッションが中心になるため、積極的な参加を歓迎します。
教科書・教材／Textbooks	大谷尚（2019）『質的研究の考え方ー研究方法論からSCATによる分析まで』名古屋大学出版会
参考文献／Reference	本田弘之・岩田一成・義永美央子・渡部倫子（2019）『改訂版・日本語教育学の歩き方ー初学者のための研究ガイドー』大阪大学出版会 その他、授業中に適宜紹介します。
コメント／Other Remarks	授業の実施方法（対面かオンラインか）は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大状況をみながら、受講生の皆様のご希望にも配慮して決定します。履修に関して相談や質問がある方は、義永（mioko@ciee.osaka-u.ac.jp）までメールで連絡してください。
特記事項／Special Note	障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、言語文化研究科言語文化専攻の大学院係(障がい学生相談窓口)に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。

担当教員／Instructor	義永 美央子
開講区分(開講学期)／Semester	秋～冬学期
開講科目名／Course Name	コミュニケーション論B / Communication in Culture and Society B
曜日・時限／ Day・Time	月曜3限 / Monday 3rd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	第二言語学習とオートノミー
授業の目的と概要／Course Objective	近年、言語学習において、学習者の自律（オートノミー）、すなわち自分自身の学習を管理する能力に注目が集まっています。この授業では、受講生が実際に自律学習、もしくは自律学習の支援に取り組みます。また、それらの実践に対して教員および受講生間でフィードバックを行い、実践の改善をはかります。これらの課題解決の過程を通じて、オートノミーの理論を実践的視点からより深く理解し、オートノミーの実践者・研究者としての知識・技能・態度を育成することを目指します。
教科書・教材／Textbooks	特になし
参考文献／Reference	青木直子・中田賀之編（2011）『学習者オートノミー—日本語教育と外国語教育の未来のために—』ひつじ書房。その他、授業中に適宜紹介します。
コメント／Other Remarks	障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、言語文化研究科言語文化専攻の大学院係(障がい学生相談窓口)に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。
特記事項／Special Note	授業の実施方法（対面かオンラインか）は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大状況をみながら、受講生の皆様のご希望にも配慮して決定します。履修に関して相談や質問がある方は、義永（mioko@ciee.osaka-u.ac.jp）までメールで連絡してください。